

取組事例

(所定外労働削減) 年休取得促進 多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)

企業名：株式会社ユアテック	所在地：宮城県仙台市
社員数：約3,900名	業種：建設業

《取り組みの目的》

ワークライフバランス推進委員会を通じ、休暇取得を促進しながら、総労働時間の短縮を目指す。

《現在の取り組み》

○ワークライフバランス推進委員会

本社に常務取締役を委員長、組合本部委員長を副委員長に据え、労使で構成するワークライフバランス推進中央委員会を設置し、これを中心に向こう1年間の活動内容を決定し、ワークライフバランス推進委員会各支部委員会を通じ支社、営業所におろしていく方式を採っており、休暇取得のしやすい環境整備を図り、総労働時間の短縮を目指している。

○時間外労働削減について

- ・社内では業務効率化、業務平準化の推進を呼びかけるとともに、発注側に対しては年間を通じ平準化した発注について依頼するなどしている。
- ・半期、年度で数値による確認を行い、対前年度比較等による意識付けを行っている。
- ・定時退社を意識した職場風土の醸成（①ノー残業デイであること/特定日 ②終業時刻10分前であること/毎日：館内アナウンスにより定時退社呼びかけ）
- ・子の出生に伴う特別休暇（父親が申請できるもので上限2日）を設けている。
- ・7～9月の夏期、3日間の特別休暇を設け完全取得を推進している。（平成26年度より、現場繁忙で取得できなかった者について、年度内に消化できるよう期限を延長した。）
- ・冬期（11月～3月）の終業時刻を17時30分から17時に短縮している。

○年次有給休暇の取得促進

- ・ 卓上カレンダーを配布し、各自予定表に組み込むことで業務の穴あき防止と取得促進を図っている。
- ・ 地元根付く企業として、地域の祭りに参加すべく休日（地方祭）と定めており、地方祭と前後の土日や祝祭日が飛び石になるような場合については、連続した休みになるよう年次有給休暇取得を奨励している。

《今後の取り組み》

- ・ これまでの取り組みを継続しながら、全従業員向けに休暇取得促進の委員長メッセージを発信する。

《取組の効果》

- ・ 年次有給休暇取得実績は平成26年度には前年比で1.04日増加している。
- ・ 子の出生に伴う父親の特別休暇は前年比で0.15日増加している。